

**若谷 修治 議員**  
市民グループ未来の会



新年度予算編成に向けて、  
どのような点に力をいれて  
いくのか

**Q** 新年度予算については、予算編成方針に基づきこれまでの施策に対する検証やまちづくり基本構想等に掲げる重点目標の実現に向けた新たな取り組みが求められると思うが、特にどのような点に力を入れていくのか。

**A** 全国的に少子高齢化が進展する中、人口減少に歯止めをかけることは容易ではありませんが、長期的視点から本市の実情に応じたきめ細かな取り組みを続けることが実現につながるものと確信しています。

新年度においては、財政状況の厳しさが増す中、多額の財源を必要とする事業が山積していますが、人口減少の克服や地域活力の向上、各種防災対策などの重要施策に積極的に取り組んでいきます。  
(市長)

質問の項目  
・ 特別支援教育支援体制の更なる充実について  
・ ネット時代の子育てについて  
・ 地域農業の担い手について

**各種専門スタッフと連携した「チームとしての学校」体制の整備状況は**

**Q** 学校における課題が複雑化、多様化する中で、様々な専門知識を有するスタッフと連携、協力し、子供の教育活動を充実させる「チームとしての学校」体制の整備が重要と考えるが、本市の状況はどうか。

**A** スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校司書等の専門的な知識、技術を有するスタッフの配置に努めているほか、小学校における学校支援ボランティアの活用や、中学校の部活動における指導者の外部委託を容易にするシステムづくりなど体制整備を進めています。  
(教育長)



**野角 満昭 議員**  
日本共産党議員会



本市創生のための実効性のある施策の実現を

**Q** 6月議会で、地方創生戦略の4つの柱に関して具体的な施策をいくつか提案したが、来年度予算に反映させるなど、どのように検討しているのか。

**A** 提案いただいた施策のうち、さらなる企業誘致については、これまでの取り組みにおいて一定の成果を挙げているので、今後もさらに推進していきます。

空き家の活用については、現在実施中の実態調査の結果を踏まえ、総合的な空き家対策を検討していきます。

その他の各種施策については費用対効果等を踏まえつつ「働きたい住みたい子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向けた貴重な意見として、引き続き検討していきます。  
(総務部長)

質問の項目  
・ 防災・安全のまちづくりについて  
・ 介護保険制度について  
・ 障がい者福祉サービスについて

**入学準備金の入学前貸付制度及び支給制度の創設と来年度からの実施を**

**Q** 本市では就学援助制度の新入学生児童生徒学用品・通学用品購入費の支給が1学期の終わり頃となっている。経済的に困窮している保護者の利便に資するために入学金準備金の入学前貸付制度及び支給制度を創設し、来年度からの実施を求める。

**A** 当該制度については、入学前に住所異動があった場合への対応が困難なこと等の問題点があることや、入学前の支給手続きの際、世帯状況の把握等に困難さがあることから、本市への導入についてはさらに慎重に検討していきます。

また、本市における新入学児童生徒学用品・通学用品購入費については、支給に至る日数を可能な限り短縮できるよう、関係機関と協力しながら手続きを進める予定です。  
(教育部長)

